

令和元年度
種子島 西之表市

い け ば な 展



(国登録有形文化財)

11/23(土) → 24(日) 会場 旧上妻家住宅

■出展団体 市内華道団体・ふるさとまなび～隊 (市内小学生) ■入場時間 10時～16時 ■入場無料
■いけばな体験 11月24日(日)・10時30分～12時・参加費無料・先着50名様 ■主催 西之表市教育委員会

種子島といけばな

種子島のいけばなの歴史は、種子島家家老・羽生道潔が寛政4年(1792)鹿児島の華道池坊流師範・丸田氏に入門し、種子島の華道師範家となったことに始まります。道潔の孫慎翁も幼少から池坊華道を学び、その後京都で42世池坊専正氏のもとで稽古を重ね要職を経て、初代東京出張所長として「華道池坊」・「いけばな」の普及啓発に尽力しました。慎翁の生家である月窓亭(市指定文化財)の敷地内には、慎翁の功績をたたえ45世池坊専永氏より、記念碑が設置されています。



はぶしんのう
羽生 慎翁(1826-1901)

このように、西之表市は「いけばな」と深い関わりがあることから、平成26年度より「いけばな展」を開催し、今回で6年目となります。

国登録有形文化財(建造物)旧上妻家住宅主屋・門について

きゅうこうづまけじゅうたくしゅおくもん

①建主 中世初期の島の統治の基礎を確立し、種子島氏入島後は種子島氏の筆頭家老職を務めた上妻氏

②建築年 江戸中期 寛延4年(1751年) 今から268年前

建築年代参考

月窓亭(西之表市指定文化財) 江戸後期 寛政7年(1795年)

中種子町 古市家住宅(国指定文化財) 江戸末期 弘化3年(1846年)

③特徴 「主屋」 建物内部の主要部分は建築当初の状態をとどめ、表座敷「和室8.0帖」の床の間の壁は板壁で、種子島特有のものである。

「門」 主柱(通常は鏡柱と呼称)を磨き丸太とする腕木門であり、鹿児島県内唯一と考えられる丸太造りの武家門である。

★種子島において、江戸中期の武家屋敷が現存している事自体が、貴重★

●平成28年7月、土地・建物を西之表市が取得。

土地(敷地面積) 4,209㎡(1,273坪)

建物(文化財対象建物) 226.9㎡(68.63坪)

この住宅からは、天文20年(1551年)室町時代に、第14代島主 種子島時堯公が習得した鑑の免状をはじめ、種子島の歴史を紐解く貴重な古文書が数多く発見されました。

西之表市では、鹿児島県の補助を受け、この古文書を未来に残し伝えていくため、修復・復元・解説・保存作業を進めています。

種子島 西之表市 いけばな展 出品者

西之表市華道団体

寿大学 いけばなクラブ

酒井 敦子
宇崎 弘子
高橋 ミユキ
高橋 香代子
榎原 幽美子
榎本 澄江
上妻 和子

池坊すみれ会

中野 スエ子
川村 洋子
木村 征子
山口 恵子

こすもすくらぶ 秋桜倶楽部

神村 まり
船元 美津子
長倉 とくこ
山内 律子

市内小学生(ふるさとまなび～隊)

井之上 和哉
(榕城小 3年)
岩下 大翔
(榕城小 3年)
川原 小春
(榕城小 3年)
木村 彩瑚
(榕城小 3年)
下村 彩音
(榕城小 3年)
野崎 梨央
(榕城小 3年)
山崎 礼衣
(榕城小 3年)
山下 真虎
(榕城小 3年)
大里 玲凪
(榕城小 4年)
提 陽向
(榕城小 4年)
柴田 響希
(榕城小 4年)
福永 凪沙
(下西小 4年)
古市 琥南
(榕城小 4年)

松本 瑠夏
(国上小 4年)
山口 なずな
(榕城小 4年)
岩下 優花
(榕城小 5年)
鎌田 杏樹
(榕城小 5年)
上妻 清香
(榕城小 5年)
中園 文乃
(榕城小 5年)
西門 樹里
(榕城小 5年)
横山 直人
(榕城小 5年)
井之上 明花
(榕城小 6年)
榎本 光咲
(榕城小 6年)
大里 仁凪
(榕城小 6年)
川崎 太渡
(榕城小 6年)
下村 穂香
(榕城小 6年)
山崎 星良
(榕城小 6年)

セハメチ マロア
(西之表市外国語指導助手)

ライアン ゼイクス
(西之表市国際交流員)

トリステン カシオ
(西之表市外国語指導助手)

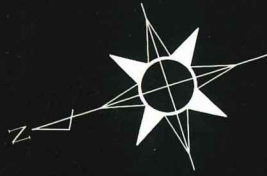
11/24 (日) 10:00～
ダンスパフォーマンス「花と踊る」

フラダンスチーム
ナープア オカ モクプニ 出演者

山中 智花 山中 咲幸 大里 仁凪 大里 玲凪
平石 真優 中園 文乃 高橋 小町 新城 杏莉
川畑 結愛 沖田 遥姫

鮫島 亜希子 新城 ゆう子 山本 裕美子 川畑 真由子
久保 裕美 岩崎 寿里 小倉 裕子 林 加奈子

床面積 209.72㎡ (63.55坪)



■ 西之表市華道団地
 ■ ふるさとまなび〜隊
 = 建築当初部分相当



旧上妻家住宅主屋